

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ゆず本山駅前ルーム		
○保護者評価実施期間	2026年3月17日		2026年3月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年3月17日		2026年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「1対1の丁寧な関わり」や「お子様のペースに合わせた支援」を実感していただけていることは、現場の大きな励みになります	一軒家という家庭的な構造を活かし、お子様が自宅のようにリラックスして過ごせる空間を整えています。2階建ての構造（下のフロアも事業所）を活かし、ジャンプなどの大きな動きも制限せず、2つの部屋を使い分けたダイナミックな活動を可能にしています。	今後も、整理整頓を徹底して「おもちゃが目につきすぎない」構造化を継続し、お子様が落ち着いて活動を選択できる環境を維持します。家庭での環境設定の参考となるような、生活空間づくりの工夫についても積極的に提案してまいります。
2	OT・STの多角的な視点による「超オーダーメイド」な個別支援	作業療法士(OT)と言語聴覚士(ST)双方が在籍し、専門職による多角的なアセスメントを1対1のマンツーマン体制で提供しています。お子様の意向や感情を尊重し、遊びの中に発展性や変化を持たせることで、「めっちゃくちゃオーダーメイド」と評されるほど個別性の高いプログラムを実現しています。	専門職間の連携をさらに深め、身体面と対人・言語面の両面からお子様の成長を支える体制を強化します。お子様の「やりたい」という意欲を自信や達成感に繋げ、「ありのまま」の個性を伸ばせる質の高い療育をさらに追求してまいります。
3	分かりやすく丁寧な対話を通じた、確かな信頼関係の構築	児童発達支援管理責任者による「見通しの持てる分かりやすい説明」や、毎回の丁寧なフィードバックを徹底しています。お子様の健康や発達状況について共通理解を深めることで、ご家族が「何でもすぐに相談できる」と感じられる共感的な支援体制を築いています。	保護者様が支援内容から多くの「気づき」を得られるよう、フィードバックの質を一層向上させます。「保護者支援ファースト」を基盤に、ご家庭でも取り入れやすい具体的な声かけや接し方の提案を充実させ、親子双方が安心できるパートナーシップを深化させます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段昇降時等の物理的な安全確保の徹底	支援室が2階に位置しているため、入退室時の階段昇降において、お子様の安全確保に細心の注意を払う必要があります。建物の構造上の制約があるため、人的な配慮が不可欠な状況にあります。	スタッフ間での連携をより密にし、階段移動時の見守りと補助体制を再徹底することで、転倒等の事故を未然に防ぎます。身体的な安全に加え、お子様が安全に移動できる動線管理を構造面からも再検討してまいります。
2	非常時対応マニュアルや訓練実施の周知不足	安全管理計画の策定や避難訓練は定期的を実施していますが、その詳細や実施状況が保護者様に十分に伝わっていないという現状があります。情報発信の方法が、契約時の説明に留まっていることが要因と考えられます。	今後は、避難訓練の実施報告や安全対策の取り組みを、お便りやSNS等を通じて視覚的に分かりやすく共有し、安心感の向上を図ります。マニュアルの存在についても継続的な周知を行い、非常時の連携体制を明確にしていまいます。
3	地域連携と外部参加型イベントの機会拡充	関係機関との連携は行っていますが、事業所の活動を地域に開かれたものにする取組に改善の余地があります。現在は個別療育を主軸としているため、外部への発信機会が限られているのが現状です。	研修会やイベントの際に、利用者以外の家族や地域の方々も参加できる仕組みを具体的に検討し、地域全体でお子様を支える環境づくりを推進します。 。園との連携状況のフィードバックも強化し、地域でのインクルージョンをより見える化してまいります。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
発達支援ゆず本山駅前ルーム		2026年 3月 30日				2026年 3月 30日		回収数 30	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		
							ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	5			・広々とした空間で初回から伸び伸びと過ごさせていた できました。 ・室内で療育するにはちょうどよいと思います。ドンド ンとジャンプしても下も借りているスペースで思い切り 動けます。 ・活動スペースが2部屋あるので、動き回れて楽しそう です。 ・広すぎず、せますぎず程よい。	環境面への高い評価をいただきありがとうございます です。今後も整理整頓と衛生管理を徹底し、お子 様が安全かつ自発的に活動を選択できる空間づく りを継続します。また、ご家庭でも取り入れやす い環境構成の工夫を積極的に発信・提案できるよ う改善してまいります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	2			・子どもに対し先生が一人ついてくださるので、 適切だと思います。 ・人の数で困ったと感じたことはありません。 ・いつも本人のペースに合った遊びができてとて も良いです。	「1対1の丁寧な関わり」や「お子様のペースに合 わせた支援」を実感していただけていることは、 現場の大きな励みになります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	4	1		・おもちゃが整理されていて適切に配置されているの で、気が散ることなく集中して遊んでいるようです。 ・教員やおもちゃが目につくので、本人が落ち着 いて遊んでいるように思います。	環境を評価していただき、ありがとうございます です。今後も適切で安心できる環境設定を実践して いきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30				十分な活動スペースの確保、快適な生活空間は家庭での 参考にさせていただきます。 ・一軒家なので自宅のようにリラックスして過ごせて いると思います。 ・こちらも程よい。 ・会話もありながら本人のやる気を伸ばしてもらえて います。	私たちは療育はスキルアップするだけの場所だけ でなく、心の満足を得られる場でもあるべきと 思っています。だからこそ「リラックスして過 ぎた」というお声をいただきとても嬉しく、励み になります。	
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	29	1			・丁寧に関わりをさせていただき、子どもの特性 に応じた専門的な支援をしていただきました。 ・OTさん、STさん双方の意見が聞けていつも助 かります。 ・ラベリングより、その子自身を見てくれる。 ・	専門職による評価とオーダーメイド支援の質を評 価いただきありがとうございます。今後も多職種 連携による多角的なアセスメントを深め、お子様 の「やりたい」という意欲を最大限に引き出し、 自信と達成感に繋がる質の高い療育をさらに改 善・強化していきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	28	1		1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されている と思いますか。	30				・コミュニケーションを楽しみながら、目標到達できる ような支援計画で子ども心から楽しんでいました。 ・今の子の状態によく合っている計画が立てられていると思 います。	今後も評価内容を適切に反映した計画となるよ う、丁寧で確実な評価と計画作成、ご提案とご案 内を行ってまいります。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す 支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2		2			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2				めちやくちゃオーダーメイド。 「めちやくちゃオーダーメイド」のお言葉に甘ん じることなく、今後もお子様が主役となり、楽し みながら「できた」を積み重ねていける丁寧な療 育を追求してまいります	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	28	1		1	・子どもの意向を尊重した上で、発展性のある遊びにつ なげ、変化や広がりを持たせてくださいます。 ・その子の気持ち大切にしてくださいるの難しいです。 ・めちやくちゃオーダーメイド。	お子様の意向や気持ちを最優先に受け止めなが ら、遊びの中に発展性や変化を持たせる関わりを 評価いただけたことは、私たちが目指す支援のあ り方として大変励みになります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこども と活動する機会がありますか。	8	5	8	9	・これに関してはふだん保育園の集団で生活しているの であまり求めていないです。 ・園に通っているため、必要とも思わないです。 ・事業所に通いながら保育所にも通う予定なので特段交 流の機会はなくいいかなと思っています。	お子様の成長に伴い連携や訪問支援の必要性が生 じた際には、いつでも迅速に対応・提案ができる 協力体制を整え、状況に応じた柔軟な支援にな がるようにしています。	
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	30				・児童さんの説明が分かりやすいです。 ・分かりやすく説明していただきました。	分かりやすいと言っていたありがとうございます です。専門的な内容を噛み砕き、ご家族と同じ歩 幅で目標を共有できていることを、これからも大 切にしていきたいです。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました か。	30					すごくいいに説明してくださいま した。 丁寧と言っていたが、とても嬉しいです。 これからも「スグに聞ける安心感」をご提供 していきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	23	3		4		先生の子どもへの声かけや接し方な どを見て、家でもなるべく取り入れるよ うにしています。	親子両面での療育を通して、具体的な関わり方を直接共有 できていることは、ゆずの「保護者支援ファースト」の 大きな目的でもあります。今後もご家庭での支援に繋がるよ うな、より丁寧な情報共有に努めてまいります
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1			・支援内容のフィードバックを何回か、共通認識や多 くの気づきを得られました。 ・これがいつもとても丁寧で助かります。 ・毎回最後にフィードバックの時間に発達の状況につ いて教えていただいています。	支援内容への共通理解や多くの気づきを共有 できることは、私たち職員にとっても大きな 励みとなっています。	
	16	定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1		1	・受け入れ共感いただけるという安心感のもと、 色々な相談ができました。 ・お話を西村先生、島先生、山口先生、高橋先生 に親身に聞いてもらえて助かっています。 ・何を聞いても、すぐ丁寧に答えてくださいま す。	温かい言葉、ありがとうございます。「共感 で安心できる」というお声は、現場の大きな励み になります。今後も「保護者支援ファースト」を 大切に、何でも相談できる「安心できる居場所」 であり続けられるよう、現状に甘んじることなく 丁寧な支援に努めてまいります	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30				・いつも寄り添った言葉をかけていただきました。 ・保護者の話を丁寧に聞いていただいています。	「寄り添った言葉かけ」や「丁寧な聞き取り」 が、皆様の安心に繋がっていることを大変嬉しく 思います。今後もご家族の想いを真摯に受け止め る対話を継続してまいります。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	6	4	11	参加したことはないが、タイミングが合えば、ぜひ参加してみたい。	再開した「ゆずカフェ」やオンラインの集い場に加え、今後は休日を利用した季節行事などのイベント企画を具体的に検討し、保護者様同士の交流やリフレッシュの機会をさらに改善・拡充してまいりますので、ぜひご参加ください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2		3	契約時に説明いただきました。	方針や方向性に疑問を持たれたときは、いつでもお声がけください。スタッフ全員で一緒に考えさせていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	3		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2	1	7	この辺はされていると思うのですが、私が見えないだけだと思います。	定期的に実施している避難訓練や安全管理の取り組み状況を、より分かりやすく周知するよう運用を改善していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	3	3	11	この辺はされていると思うのですが、私が見えないだけだと思います。	定期的に実施している避難訓練や安全管理の取り組み状況を、より分かりやすく周知するよう運用を改善していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3	1	4	・ゆずで怪我をしたことがないので、「どちらとも言えない」にチェックしました。 ・そうだったことがない	今後も怪我が発生しないよう、最新の注意を払って療育実践してまいります。 ※未回答1
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				・受容される場所として、心を置いて自然体で過ごせていると思います。 ・ここは本当に皆さんの努力で達成されていると思います。すごいです。 ・先生のことが大好きで、楽しく通わせていただいています。 ・先生がみなさん優しいので、安心して通っています。 ・毎回来しみにしています。「タカハシ先生！！」と喜んでルンルンしています。	今後もお子様が「ありのまま」で受容され、心から楽しめる第三の居場所であり続けられるよう、日々の関わりを大切に、満足度のさらなる向上に向けて支援の質を磨き続けていきます。 ※未回答1
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29				・毎週行く日を心待ちにするほど、楽しみにしていました。 ・ここは本当に皆さんの努力で達成されていると思います。すごいです。 ・毎週のしみに通わせていただいています。 ・皆様に楽しんでいます。 ・はい。 ・とても楽しみにしています。家でも「先生にこれみせろ！！」と話題になっています。	お子様が毎週の通所を心待ちにしてくださっている様子や、ご家庭でも私たちのことを話題に挙げてくださっていると伺い、スタッフ一同、感謝と喜びの気持ちでいっぱいです。 皆様からいただいた「すごいです」「満足しています」といったお言葉は、何よりの励みになります。 皆様からのこうした温かいご評価に決して甘んじることなく、これからもお子様一人ひとりの成長に真摯に向き合い、専門性の高いオーダーメイドの支援を磨き続けてまいります。 これからも「保護者支援ファースト」を大切に、親子ともに安心できる「最高のサードプレイス（第三の居場所）」であり続けられるよう、職員一同、精一杯努めてまいります。 今後とも、どうぞよろしくお願いたします。 ※未回答1
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				安心できる場所で楽しい遊びを通じ、自信や達成感に繋がる支援をしていただき、本当にありがとうございます。 ・おかげで子が安心して通っています。これからはもっと楽しく通っています。 ・丁寧に接していただいているので、満足しています。 ・いつも丁寧に説明してくれて、子どもも毎回ケラケラ笑ってすごく楽しんでいます。少しずつ成長も見られ先生と一緒に喜んでくれて嬉しいですし、すごく満足です。 ・月に1回くらいで土日など季節のイベント企画があればなおよい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ゆず本山駅前ルーム		公表日		2026年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			支援室が2階のため、階段の昇降については人的な配慮を引き続き重視していく必要あり。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		zoomを用い、職員同士の意見交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		別ルームとzoomでミーティング出来る状況が常に整えられている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		支援計画に沿って、活動プログラムを運営している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		状況に応じて、別ルームの利用を勧め、ハイブリッドな支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録をもとに検証し連携している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		常に連携できる体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者を通じて行われている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		依頼があればすみやかに対応できる体制を整えている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4			利用者が既に園に在籍している事が多いことと、個別療育を実施していることで、そのような機会は設定していない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		保護者に同席いただいていることで、常に状況を共有できている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		子育てについての研修を実施し、保護者等に情報提供を行っている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		担当者だけでなく、チームとして適切に応じ、支援を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		子育てについての研修を実施し、保護者同士の交流や意見交換の場を設定し、支援を行っている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		HPやSNSを活用し、事業所の様子を詳しく発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			子育てについての研修会について、利用者の家族以外の方々も参加出来るようにしたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			非常災害の発生に備えたマニュアルを、家族にも周知を継続していく必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			策定は行っているが、今後より積極的に危機意識を持ち、訓練等につなげていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			弊所では食事等の提供はないが、アレルギー情報は保護者等から得ていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			すべてのご家族へ周知を継続していく必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				